

総 括

○ 経過

第49回衆議院議員総選挙は、10月4日に岸田内閣の発足に合わせて衆議院解散報道がされ、10月14日解散、19日公示、31日投開票となり、解散から投開票まで17日間と最も短く、また衆議院議員の任期が満了する10月21日より後にずれ込んだ。投開票日においても想定されていた日よりも1週間早まったことから、極めて短期間で選挙準備を進めることとなり、新型コロナウイルス感染の影響とも相まって、投開票所や従事者の確保に苦慮したところである。

○ 投票率について

前回の衆議院選挙から、期日前投票者数、当日投票者数とも約13%増加し、投票率は前回(46.37%)を上回り、53.34%となった。

18・19歳の投票率は36.95%(18歳が45.81%, 19歳が28.43%)であり、前回の衆議院選挙よりも3%増加した。

○ 投票所、開票所について

2年前の県知事・市長選挙で使用した99か所の投票所のうち、5か所が変更となった。うち2か所(第37投票区 あゆみ保育園、第95投票区 春野弘岡中市民会館)が、新規投票所である。

開票所は利用団体と交渉して、利用時間の変更や代替場所への変更で了解を得て、高知県立県民体育館を確保し、1階で1区、2階で2区の開票を行った。

○ 期日前投票について

2年前の県知事・市長選挙で使用した「高知大学」は新型コロナウイルス感染防止により使用を中止し、17か所で期日前投票を実施した。

期日前投票者数は52,414人と過去最高となり、最終日に12,633人が投票した。4か所の商業施設では通算して28,405人が利用し、期日前投票全体の54%を占めた。

○ 新型コロナウイルス感染症対策について

投票所内の対策として、投票所内の換気、アルコール消毒液の設置、ビニール手袋や使い捨て鉛筆等の配布、マスクの着用、共用物品の消毒を実施した。従事者の感染対策として、不織布マスクの着用、半日に1回はマスクの交換、選挙人に応対する場合はフェイスシールドの着用を実施した。投票立会人用にデスクパーティションを設置した。

開票所における対策として、マスク及びゴム手袋の着用並びに手指の消毒を実施した。

衆議院議員選挙投票状況一覧表

